2022年度活動概要　　英語辞書研究会

英語辞書研究会は、今年度コロナウィルス感染防止を考慮に入れ「英語辞書学についての意見交換、英語辞書編纂・記述に関連する他分野との学際的交流」をテーマとしてオンラインによる下記の活動を行いました。

1. 第 1 回オンラインシンポジウム：「英語辞書学の動向」

本シンポジウムは、さまざまな辞書メディアが拮抗する激動の時代の中で、辞書の果たす役割と今後の辞書のあり方について議論を行った。パネリストには、辞書アプリの開発者、学校現場向けパッケージアプリや関連教材のメーカースタッフ、冊子辞書の編纂に長年携わり今後の辞書の姿を模索する編集者など、英語教育畑以外から辞書に携わる方々もお招きし、「ポスト・コロナ」「ウィズ・コロナ」の時代を生きる私たちが、多様化する辞書メディアとどのように関わっていくかを参加者とともに考えた。

日時：2022 年 9 月 20 日（土）13:00〜16:00, 57 名参加

2. 第 2 回オンライン例会：「今後の辞書の新展開：国内外の知見から」

第 1 回オンラインシンポジウムで「英語辞書学の動向」について勉強をしたことを基に、第 2 回例会はオンライン開催の利点を活かして、海外からの辞書学専門家をお呼びし、国内外の今後の辞書の新展開を日本語と英語の側面から学んだ。日本語については森口稔先生（京都外国語大学）、英語については Vincent Ooi 先生（シンガポール国立大学）にお話しいただいた。

日時：2022 年 11 月 26 日（土）9:30〜11:45, 24 名参加

3. 第 3 回オンライン例会：個別発表と講演「インタヴュー・プロジェクト「英和辞典の作り手たち」について」

午前中は、英語辞書学に関連した 3 件の個別発表を行い、午後は下記の講演を開催した。講演「インタヴュー・プロジェクト「英和辞典の作り手たち」について」は、小室夕里先生（中央大学）と星野守氏（株式会社ネットアドバンス）に、辞書を作成するために必要となる暗黙知をどのように言語化するかというお話を伺った。講演後は、参加者たちと活発な議論を交わすことができた。

日時：2023 年 3 月 18 日（土）10:00〜14:30, 27 名参加

今年度も、国内外の遠方に住む方々と交流可能であるオンラインの利点を活かした研究活動ができました。今年度の特徴的な研究活動として、海外からの研究者を招いて意見交換ができたことは有意義でした。